

実行委員会への加入について

広瀬川1万人プロジェクトは、広瀬川の自然環境を守り、多くの市民が親しめる広瀬川とするという目的に賛同して集まった企業・団体などが実行委員会をつくって活動を行っています。

実行委員会加入の要件は、この目的に賛同し、以下の「実行委員の役割」を担っていただける企業・団体となっております。加入申込書は、公式サイト<http://10000p.blog76.fc2.com/>からダウンロードいただけます。以上の趣旨をご了承いただき、私たちと一緒に活動していただける企業・団体を募集しています。

また、清掃活動への参加や実行委員会事務局への協力については、個人での参加も大歓迎です。詳しくは下記事務局までお問い合わせください。

実行委員の役割

1. 協賛金・協賛品の提供

広瀬川1万人プロジェクトへ協賛金(1口10,000円/年度毎)、または協賛品のご提供

2. 会場担当

流域一斉河川清掃の際の会場担当業務(会場の準備・受付や、進行役など運営)

3. 事務局業務への協力

流域一斉河川清掃実施に向けた事務局業務への協力や、新規事業の企画運営業務などに関する協力

以上の役割は、ひとつでも複数でも結構です。また、選択した役割を変更することも可能です。

詳しくは下記事務局までお問い合わせください。

企業の社会的責任等(CSR活動)に関する参加証明書の発行について

広瀬川1万人プロジェクト実行委員会の主な活動である流域一斉河川清掃は、国土交通省、宮城県、仙台市などの公共事業入札総合評価制度におけるボランティア活動への参加実績として、評価対象となっています。

実行委員会に加入していただいた団体・企業には、清掃活動に参加いただいた場合、参加証明書を発行できます。(ただし、実行委員会に加入しないで清掃活動のみに参加された企業・団体には、参加証明書を発行できません)。なお、清掃に参加した個人に対する参加証明書は、「広瀬川1万人プロジェクト実行委員会」名で発行することも可能ですので、詳しくは下記事務局までお問い合わせ願います。

お問い合わせ

【広瀬川1万人プロジェクト実行委員会 事務局 広瀬川市民会議】

TEL 022-214-5512 FAX 022-723-1391 E-mail hirosegawa@michinoku-kawa.net
〒980-0014 仙台市青葉区本町2丁目14-26 保坂ビル303内

※毎週水曜日の午後以外の時間帯には、基本的には常駐スタッフがいません。詳しい内容については、公式サイトをご確認ください。



広瀬川 1万人 プロジェクト 2009

=第9回広瀬川一斉清掃=
活動の記録

公式サイト <http://10000p.blog76.fc2.com/>

【主催】広瀬川1万人プロジェクト実行委員会

(株)鷹泉閣 岩松旅館/(株)建設技術研究所 東北支社/仙台環境開発(株)/東北工業大学環境情報工学科/ハザマ((株)間組)/宮城県建設業青年会/日本工営(株)仙台支店/NTTコムウェア東日本(株) 東北支店/三建設機械(株) 東北支店/グリーンパワー作並/三洋テクニックス(株)/広瀬川市民会議/(株)深松組/(株)バスコ東北事業部/河北建設(株)/八千代エンジニアリング(株)東北支店/ゆづくしの宿一の坊/パシフィックコンサルタンツ(株)東北支社/(株)栗本鐵工所/奥田建設(株)/東北三建サービス工事(株)/古久根建設(株)東北支店/遠藤興業(株)/仙建工業(株)/日東通信(株)/(株)エコリス/鹿島建設(株)東北支店/(株)コウリョウ/(株)サトー技建/庄磁工業(株)/東京コンサルタンツ(株)東北支店/東北緑化環境保全(株)/ニッカウヰスキー(株)仙台工場/星和電機(株)/(株)ヤマザキ/(株)渡辺技工/山川建設(株)/岩崎電気(株)仙台営業所/大日本土木(株)/東亜建設工業(株)/佐藤工業(株)東北支社/仙台市河川課広瀬川創生室/アイサワ工業(株)/NTT労働組合宮城県グループ連絡協議会/(有)くまで企画/情報労連宮城県協議会/仙台市カヌー協会/仙台南地区広瀬川環境美化推進協議会/(有)地域環境計画室TEO/名取ハマボウフの会/北部広瀬川愛護推進協議会/NPO法人水・環境ネット東北<協力>国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所/東北地方環境事務所廃棄物・リサイクル対策課/宮城県仙台土木事務所/仙台市/名取市<後援>仙台市河川愛護会/仙台商工会議所/(財)仙台観光コンベンション協会

本活動報告リーフレットは(財)リバーフロント整備センターの「川に学ぶ」の活動助成を受けて作成しています。

広瀬川1万人プロジェクトの概要

杜の都・仙台のシンボルである広瀬川の自然環境を守り、多くの市民が親しめる広瀬川とするため、100万都市仙台の1%・1万人をキーワードとして、市民・企業・行政などで実行委員会をつくり活動しています。



閉上交流会



弦楽五重奏曲「広瀬川」



作並かっぱ祭り

定例的なイベントとして、毎年春と秋に流域一斉清掃を行っています。特に、秋には「広瀬川の清流を守る条例」(1974年9月28日公布)にちなみ、9月の最終土曜日に流域10箇所で一斉清掃を実施しています。

さらに広瀬川に関心を持つてもらうため、清掃終了後に芋煮会やもちつき、カヌー試乗会などの参加者の相互交流や、地域のことをよりよく知ってもらうためのエコスクール、広瀬川サミットの開催など清掃以外の活動にも取組んでいます。

これからも広瀬川の自然環境を守りながら、多くの市民が親しめるようにしていくため、私たちと一緒に活動しませんか。

流域一斉清掃の実施日

(春編): 4月最終土曜日(草木が生い茂る前の時期ということで2007年(平成19年)度から実施)

(秋編): 9月最終土曜日(「広瀬川の清流を守る条例」公布日の昭和49年9月28日由来)

主な経緯

- 2002年度 NPO法人水・環境ネット東北の発案により、仙台市環境局の「環境社会実験」事業として「広瀬川1万人委員会」発足。
・広瀬川流域の6会場で一斉清掃を実施。
- 2006年度 「広瀬川1万人プロジェクト」に改名、実行委員会体制とする。
- 2007年度 ・流域一斉清掃を春・秋の年2回実施体制とする。
・現実行委員会事務局の広瀬川市民会議が主催となり、広瀬川の四季を題材とした弦楽五重奏曲「広瀬川」の制作発表会を開催。
- 2008年度 ・広瀬川市民会議が中心となり、流域一斉の際に作並会場を担当する企業・団体とともに川に親しむためのイベント「作並かっぱ祭り」を開催。
- 2009年度 ・4月25日(土)雨天のため作並会場のみ春編の清掃を実施。
・6月6日(土)春編の順延として濱橋会場のみ清掃・除草を実施。

広瀬川1万人プロジェクト 会場マップ



広瀬川1万人プロジェクト清掃活動報告

【実施状況】の見方 ①主なごみ ②特徴的なごみ ③会場の状況、特徴的な実施内容

大橋(右岸) 7 人数 94 ごみ袋数 65 【会場担当】ハザマ(株)間組

【実施状況】
①弁当ガラ
②例年同様自転車(4台)、野焼きに使ったと思われるドラム缶。
③大橋上流の国際センター側に加えて、大橋下流側も実施。

米ヶ袋 8 人数 42 ごみ袋数 22 【会場担当】東北緑化環境保全(株)

【実施状況】
①空き缶、ペットボトル。
②ポリタンク、その他プラスチックごみ、花火、雑誌類を焼却したと思われるごみ。

宮沢橋 9 人数 75 ごみ袋数 30 【会場担当】広瀬川市民会議/株)サトー技建

【実施状況】
①ゴミの量は少ないがビール缶やジュース缶の割合が多い。
②工事用の大型土のう袋。
③宮沢緑地に加えて、今回からボートクラブの協力により、ごみ拾いにボートを使用した。

八本松 10 人数 260 ごみ袋数 19 【会場担当】八本松緑地愛護協力会/鹿島建設(株)

【実施状況】
②バイクの鉄骨車体部分。③清掃範囲を八本松緑地に加え広瀬橋下流から水道管橋上部までの河川敷に拡大した。近隣町内会等による定期清掃により緑地公園部分は極めてごみが少なかったが、河岸部分に漂着ごみがあった。

富田 11 人数 41 ごみ袋数 50 【会場担当】NPO法人水・環境ネット東北/アイサワ工業(株)

【実施状況】
②冷蔵庫、蛍光灯、スキー靴、タイヤ、布団、雨どい、バイクのマフラー、ソファー、ラジカセ。
③今回初めて実施。思っていたよりもごみが多かった。

太白大橋 12 人数 93 ごみ袋数 35 【会場担当】東北工業大学環境情報工学科

【実施状況】
①びん缶ペットボトル、プラ容器、たばこの吸殻、生ごみ(芋煮会に由来)
②テレビ、浴槽、パソコン、イヤホン、ベビーチェア、石油ヒーター

閉上海岸 13 人数 237 ごみ袋数 184 【会場担当】名取ハマボウフウの会

【実施状況】①ペットボトル、びん缶類、プラスチック・発泡スチロール製容器類などの家庭ごみ。②漁船具、海洋動物の死骸、海藻類、釣り道具、外国からの漂着物など海上由来のごみと、川の上流からの漂着物、古タイヤ、金属容器、ガラスの破片、家電製品。③海上由来のごみは運搬困難。